令和７年度第３回ヨコハマｅアンケート
横浜市における外国にルーツがある人との共生に関するアンケート

実施期間　　令和７年５月９日（金）から５月19日（月）

事業所管課　　国際局　政策総務課

回答者数　1,668人（回答率：32.7%）
【参考】ｅアンケートメンバー数　5,099人（５月９日時点）

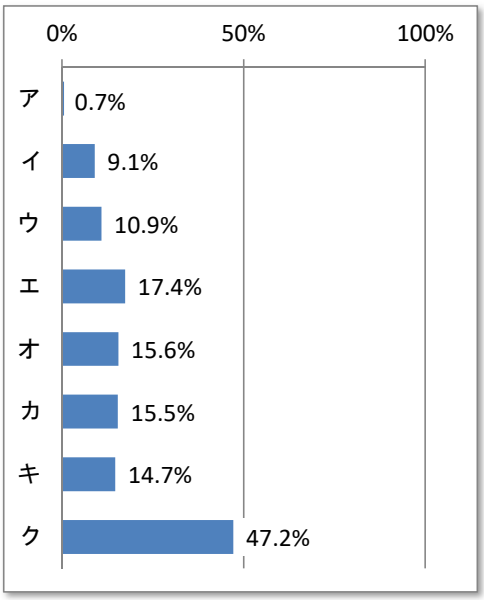
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	１０歳代	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳以上	計
横浜市内在住	4 (0.2%)	32 (2.0%)	145 (8.7%)	250 (15.0%)	467 (28.0%)	465 (27.8%)	296 (17.7%)	1,659 (99.4%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	2 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)
横浜市内在学	1 (0.1%)	3 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)
計	5 (0.3%)	35 (2.1%)	146 (8.8%)	251 (15.1%)	469 (28.1%)	466 (27.9%)	296 (17.7%)	1,668 (100.0%)

Q1　あなたは外国にルーツがある人との関わりをもっていますか。（複数選択可）

n = 1,668

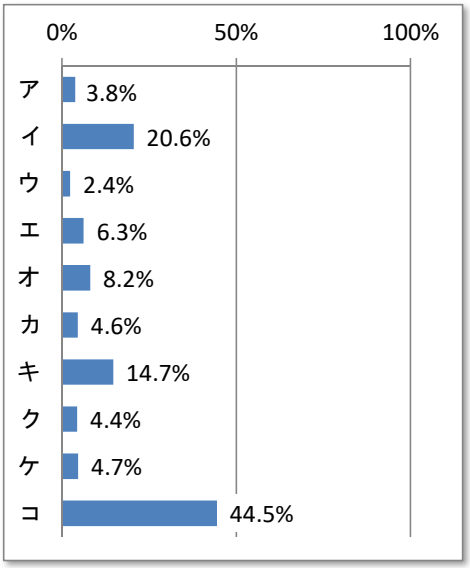
ア	あなた自身が外国にルーツがある	0.7%	11
イ	家族・親戚にいる	9.1%	152
ウ	親しい友人がいる	10.9%	182
エ	仕事や学校で頻繁にやりとりする人がいる	17.4%	291
オ	時々会話する人がいる	15.6%	260
カ	挨拶する程度の人がいる	15.5%	258
キ	接客や対応などで話す機会がある	14.7%	245
ク	ほとんど関わりがない	47.2%	787



Q2　外国にルーツがある人とどのような場面で関わっていますか。
※「コ　ほとんど関わりがない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
（複数選択可）

n = 1,668

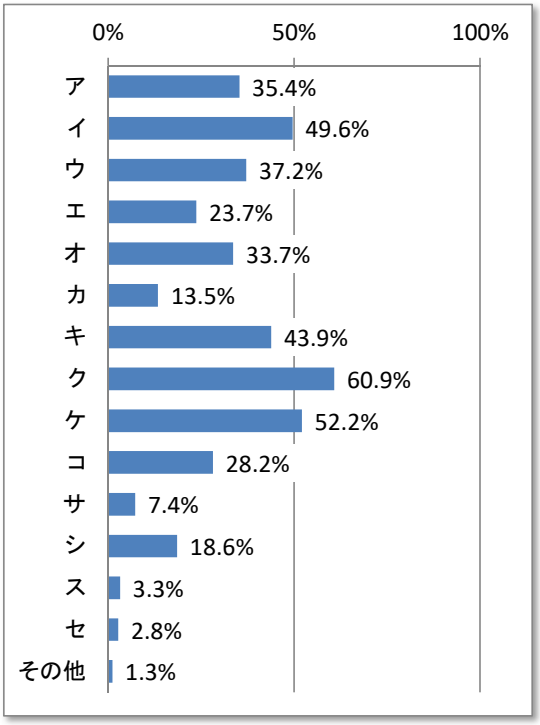
ア	家族・親戚として一緒に生活している	3.8%	64
イ	仕事で一緒に働いている	20.6%	344
ウ	学校・大学などで一緒に学んでいる	2.4%	40
エ	こどもを通じた活動（PTAやこどもを通じた親同士の交流など）をしている	6.3%	105
オ	自治会・町内会などの地域の活動や趣味のサークルなどで関わっている	8.2%	136
カ	ボランティアや支援活動を通じて関わっている	4.6%	77
キ	店舗や介護関連施設などで接することがある	14.7%	246
ク	SNSやオンラインゲームなどインターネット上で関わっている	4.4%	74
ケ	語学学校やオンラインレッスン、趣味の講座などで関わっている	4.7%	78
コ	ほとんど関わりがない	44.5%	743



Q3　現在、横浜市には約13万人の外国籍の人が暮らしています。今後横浜市に外国にルーツがある人が増えた場合、どのような変化があると思いますか。
※「ス　特にない」または「セ　わからない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
（複数選択可）

n = 1,668

ア	外国の言葉を学んだり使ったりする機会が増える	35.4%	590
イ	外国の文化・習慣を知る機会が増える	49.6%	828
ウ	横浜の国際化が進み、グローバル化・多様性のある都市になる	37.2%	620
エ	外国の人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる	23.7%	396
オ	働き手が増えることで人手不足の解消につながる	33.7%	562
カ	横浜での起業や海外企業の進出などにより横浜の経済が活性化する	13.5%	225
キ	言葉の壁による行き違いが生じる	43.9%	732
ク	文化・生活習慣が異なることから行き違いが生じる	60.9%	1,015
ケ	生活環境（治安、風紀等）に影響がある	52.2%	870
コ	教育・医療・福祉など社会的なコストが増える	28.2%	471
サ	日本人の仕事が少なくなる	7.4%	123
シ	漠然とした不安を感じる	18.6%	310
ス	特にない	3.3%	55
セ	わからない	2.8%	47
その他		1.3%	21



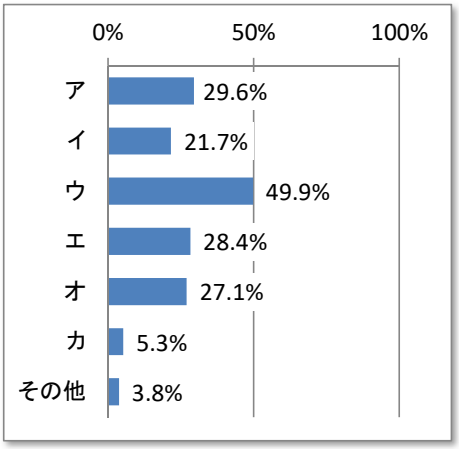
その他（抜粋）

単に外国籍という事だけで語れない。日本人でも色々な人がいるように外国籍は一つのIDとし個々の人間として付き合えるように考えなくてはいけない。そのような異文化交流を勉強、知識として持たなくてはいけない。
新しい文化や歴史にお互いにふれあう交流や、多文化理解、他の人（国籍を問わない）を理解、尊重しあう姿勢や在り方を促進するきっかけにしたい。
外国の人との交流に無条件に不安を感じたり、嫌悪感を抱く人々が一定数おり、その人たちとの対立などに対応しなければならなくなる。

Q4　あなた自身が日常生活のなかで、外国にルーツがある人に対して、次の選択項目のなかで実際に気になった経験はありますか。
※「オ　特にない」または「カ　わからない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
※あなた自身が外国にルーツがある方（Q1でアを選んだ方）でこの質問に回答しづらい場合、日本人との生活習慣の違いが気になった経験があれば、その経験を「キ　その他」にご記入ください。
（複数選択可）

n = 1,668

ア	ごみ出しのルール	29.6%	494
イ	駐車・駐輪など交通ルール	21.7%	362
ウ	電車やバスなどの公共の場における利用マナー	49.9%	832
エ	言葉の違いから生じる行き違い	28.4%	473
オ	特にない	27.1%	452
カ	わからない	5.3%	89
その他		3.8%	64



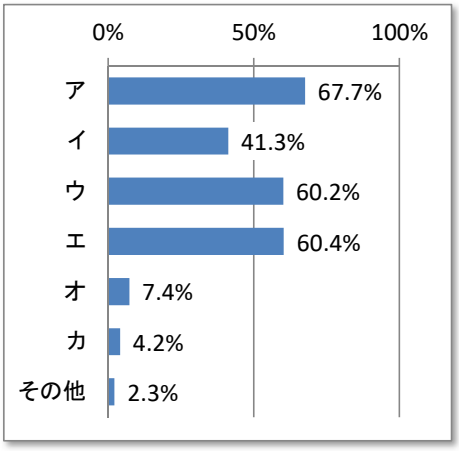
その他（抜粋）

集合住宅での騒音
ゴミ出しルールや公共の場でのルール等で違和感を覚えることがあるが、常態化している訳ではなく、日本人でも同様の行為者を見かける。一定期間日本で過ごしている人たちはほぼ順応しているように感じる。むしろ、幾つかの国から観光等で訪れている団体のマナーについては、事前の準備不足や集団としての態度の相違を感じることがある。
町内会に日本語が分からない外国人の世帯があり、会費の徴収などで少し苦労する。

Q5　大地震などの災害が発生し、避難所（地域防災拠点等）に外国にルーツがある人が避難する場合、心配なことはありますか。
※「オ　特にない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
（複数選択可）

n = 1,668

ア	日本語を話せない人とのコミュニケーション	67.7%	1,129
イ	食文化の違い（炊き出しの食事など）	41.3%	689
ウ	生活習慣の違い	60.2%	1,004
エ	宗教による生活習慣の違い	60.4%	1,007
オ	特にない	7.4%	123
カ	わからない	4.2%	70
その他		2.3%	38



その他（抜粋）

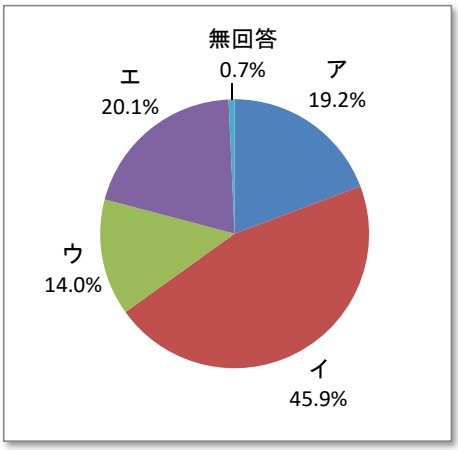
外国にルーツがある人や旅行者も含めて習慣や好みが違う人が避難することが想定されるが、少数派なのでその人たちの声が届かないこと。
想像の及ばない行き違いやトラブルがあるかもしれないという不安がある。

Q6　あなたは「多文化共生＊」という言葉と意味を知っていますか。
＊「多文化共生」（総務省による定義）：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

【参考URL】多文化共生の推進（総務省）
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/chiho/02gyosei05_03000060.html
（単一選択）

n = 1,668

ア	言葉も意味も知っている	19.2%	321
イ	言葉は知っているし、意味もだいたい分かる	45.9%	765
ウ	言葉は聞いたことはあるが、意味は分からない。	14.0%	234
エ	言葉は聞いたことがない。	20.1%	336
無回答		0.7%	12
		100.0%	1,668



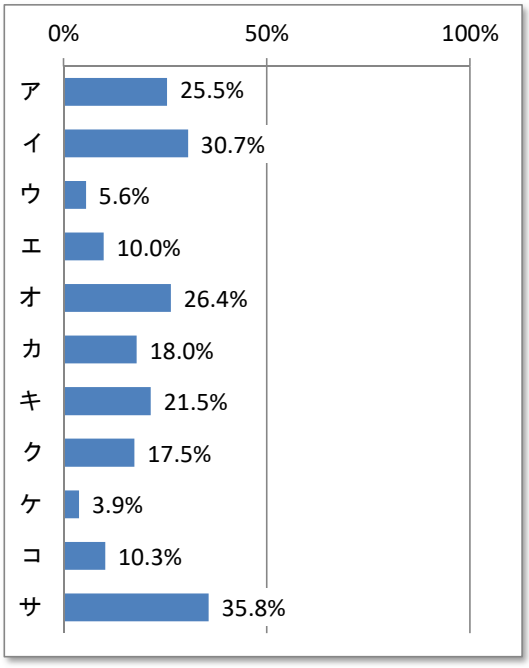
Q7　多文化共生に取り組んでいる組織や外国にルーツがある人向けの取組などについて、知っているものはありますか。
※「サ　どれも知らない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。

【ア～コの選択項目の内容に関するウェブページ】
ア　横浜市国際交流協会　https://www.yokeweb.com/
イ　横浜市国際交流ラウンジ　https://www.yokeweb.com/lounge/
ウ　横浜市多文化共生総合相談センター　https://yoketagengo.com/info_center/
エ　よこはま日本語学習支援センター　https://yokohama-nihongo.com/
オ　「ごみと資源物の分け方・出し方」ウェブページ内に外国語版を掲載しています。
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/ongen/pamphlet/wakedashi.html
カ　「やさしい日本語を使ったお知らせについて」ウェブページ
https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijunej.html
キ　市民通訳ボランティアの派遣・紹介　https://www.yokeweb.com/tsuyaku/
ク　病院への通訳派遣事業（MICかながわ）
https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/seisaku/iryokokusaika/kokusai_20210827_2.html#59ABF
ケ　「消防団員募集案内」ウェブページ内に外国人募集を掲載しています。
https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/shobo/bosai/shobodan/03.html
コ　災害時多言語表示シートについてのウェブページ（一般財団法人自治体国際化協会）
https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/sheet.html

（複数選択可）

n = 1,668

ア	横浜市国際交流協会	25.5%	426
イ	横浜市国際交流ラウンジ	30.7%	512
ウ	横浜市多文化共生総合相談センター	5.6%	93
エ	よこはま日本語学習支援センター	10.0%	166
オ	ごみの捨て方の多言語版	26.4%	441
カ	やさしい日本語の活用	18.0%	301
キ	区役所窓口の通訳支援（市民通訳ボランティア、オンライン通訳）	21.5%	359
ク	病院の通訳支援（医療通訳）	17.5%	292
ケ	外国籍の人や外国にルーツがある人への消防団員募集案内	3.9%	65
コ	避難所（地域防災拠点等）の多言語表示シート	10.3%	172
サ	どれも知らない	35.8%	597



Q8　これまでに外国にルーツのある人と交流があった方に伺います。印象に残った経験や、良い交流ができた経験があれば教えてください。（自由意見）

（抜粋）

職場には外国にルーツのある方がだんだん増えてきている。初めは言葉がたどたどしいが、日に日に理解が深まっている。 皆とても勤勉だと感じている。
以前、外資系企業に勤めていた時に交流のあった外国人は、仕事という目的が同じ面があったので、お互いを理解しようとする意識も強く、コミュニケーションがよくとれて交流が楽しかったが、現在、居住している地域の外国人は、自国人同士のコミュニティが強く、あまり介入出来ない様な雰囲気のある人達も多いように感じる。
幼稚園の娘の友達に外国人がいますが、仲良く遊んでます。お母さんも普通にお話ししてるので、気になることはありません。 仕事先でも外国人とのやりとりありますが、普通にやりとりできます。ただ、細かいニュアンスは伝わりづらいです。
小学生の時、外国にルーツのあるクラスメートの誕生日会に呼んでもらったことがあり、今まで経験したことのない遊びや親御さんと会話している時に英語が聞こえたりしていました。子どもの頃のこのような体験が外国に対しての興味をもてる良い機会になったのかなと思います。
同じマンションにも外国にルーツのある方がいるので、挨拶をしたり、小さな子どもと軽くコミュニケーションをしたり、実際に接していて問題になることはない。また、会社では共に仕事をする機会もあり、ユーモアを交えたコミュニケーションをとったりと、国籍が気になることは特にない。ただ、マンションで共同の生活をする際に文化の違いが問題になることがあった。具体的には、共用の廊下に宗教的なチョーク書きを行ったり、粗大ごみのルールに沿わなかったりといった問題であった。決して悪意があるわけではなく、文化の相互理解の問題だと感じている。

Q9　横浜市が外国にルーツがある人と、日本人市民のみなさんとの交流の機会を作る場合、どのような機会があると良いと思いますか。（内容、場所、時間など）（自由意見）

（抜粋）

外国にルーツがある人へ向けた、日本での暮らし（マナーやルール、文化）を知るワークショップ開催。日本人に向けた多文化を受け入れる土壌づくり（困りごとを知る、多様な食文化や歴史を知る）。お互いを積極的に知ろうとする機会がないと混ざり合えない。
自治会活動に参加してもらう。委員になってもらうというより、まずはイベント等への参加や手伝いなどを通して、地域に溶け込んでいったらよいと思う。
新たなイベントとなるとハードルがある気がします。 既存の市民祭り、学園祭、学校の運動会やコミュニティハウスのイベントで、交流できるコーナーがあるとよいです。
各国の家庭食が楽しめるとか、ある意味フェスみたいなかんじだと面白いと思います。 子どもも気軽に参加できて、各国の簡単な言葉・童謡・子ども遊び・ダンスなどを体験できたら、ちょっとした学習もできて良いのではと思います。
私自身は介護職をしているので日本人と外国人のコミュニケーションの違いや文化の違いというものに非常に関心があります。 今現在、外国人介護職が多くいますが、やはり文化の違いなどからくる悩みなどがあると思います。 そこで、同じ仕事をしている者同士あるいは市民の人たちが外国人と率直に互いに何に困っているのかなど話し合う機会があったらより良い交流の場になるのではないかと思います。

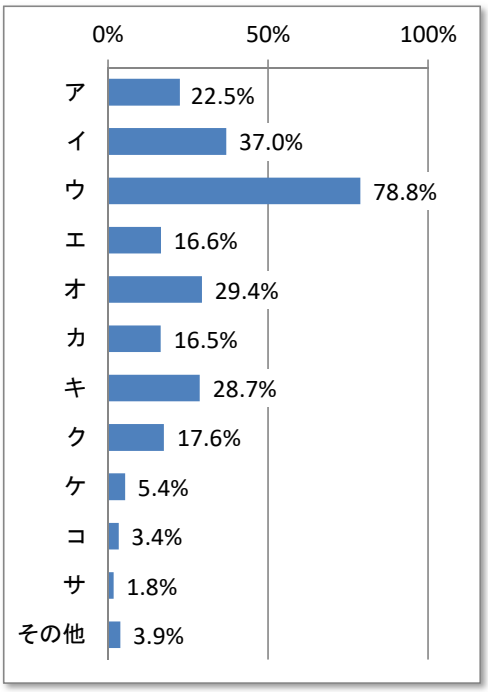
Q10　外国にルーツのある人が横浜で生活する場合、どのようなことを希望しますか。この中から3つまでお答えください。

※「コ　特にない」または「サ　わからない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。

（複数選択可：3つまで）

n = 1,668

ア	あいさつをしてほしい	22.5%	376
イ	日本語を話せるようになってほしい	37.0%	617
ウ	日本の文化や習慣を理解してほしい	78.8%	1,315
エ	横浜の歴史や文化などを知ってほしい	16.6%	277
オ	横浜に住む人に外国の言葉・文化・習慣を教えてほしい	29.4%	490
カ	横浜の良いところを海外に伝えてしてほしい	16.5%	276
キ	自治会・町内会、学校のPTAなどの地域の活動やイベントに参加してほしい	28.7%	479
ク	働き手として経済を支えてほしい	17.6%	293
ケ	外国にルーツがある人同士で助け合ってほしい	5.4%	90
コ	特にない	3.4%	57
サ	わからない	1.8%	30
その他		3.9%	65



その他（抜粋）

外国にルーツがある人達の生活習慣や宗教的価値観は尊重したいと思うが、日本の習慣、法令に対して自己主張を押し通さないように、日本人の習慣、価値観を尊重してほしいと思う。
日本を好きになって母国との架け橋になってほしい。

Q11　横浜市の外国にルーツのある人に対する取組について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。（自由意見）

（抜粋）

日本は日本語が話せないと困る社会なので、まずは、日本語教育に力を入れたら良いと思う。また、習慣もきちんと教えるとか、多国語で掲示するなど工夫してほしい。
日本で生活するために地域のルールや習慣を学べる場所を作ったり、ことばの支援をしてほしい。資料ベースではあると思うが、実践ではそれができず孤立したり、外国にルーツのある人だけで集まってそのコミュニティ内で生活したりして、せっかく日本に住んでるのなら日本の生活をもっと楽しんでほしいと思う。
日本に住む必要がある人には居住が決まった時点で地域のゴミ出しルールやタバコ、公共交通機関の使い方、携帯電話や自転車などのルール等、ちゃんと伝えてほしい。
地域での防災訓練などの催しに参加する外国人がわずかながら増えてきているので、市として多言語でアピールしてほしい。
外国にルーツのある方を差別するのではなく、共生できるような取組を続けてほしいです。
文化等の交流や具体的な取組も当然必要ですが、やはり昨今の人手不足を勘案すると働き手としての外国人への取組についての議論は必須かと思います。
いろいろな制度があるにもかかわらず、周知されていないことが多いと思う。
国際交流の良い面や必要性は十分に理解していますが、ネガティブな面(例えば、①外国人が周りにいることをあまり良くないと考えている人の存在②外国人を単なる労働力としか考えていない人③自分たちのコミュニティーを作り、日本人との交流を持ちたがらない外国人など)があることを理解して、それらをどのように解決して行くか、みんなで考える必要があると考えます。